

尾崎一夫先生の思い出(1)

瀧澤正夫

※今後、数回にわたって、HCJB の番組制作や放送運営に関わってくださった方の中から、尾崎一夫先生の思い出を語っていただきます。第一回目は、HCJB 日本語放送スタッフの瀧澤正夫が担当します。

私は 1963 年生まれの現在 62 歳、小学生の頃から短波放送の聴取を趣味としておりました。エクアドルからの放送である HCJB は私にとって、アルゼンチンからの放送並みの難局であり、IS の「さくらさくら」が少し聴こえたことがあるくらいで、番組内容をともに聴けた経験はありません。2006 年から放送再開、オーストラリアからの送信となったということを知り、ダイヤルを合わせたところ、良好に受信できて感動した記憶があります。しかしながら、その後も受信報告を出したことはありませんでした。

エクアドル時代はまったく受信できなかったものの、BCL ですから、当然のことながら尾崎一夫先生のことは良く知っておりました。2009 年に尾崎一夫先生、ロシアの声の岡田和也さんと BCL 愛好者との交流会があり、参加したのが尾崎一夫先生とお会いした初めてのことでした。交流会では、HCJB の常連リスナーも多かったのでしょう、尾崎一夫先生と親しそうに会話されていましたが、わたしは一回も受信報告を出したことがなかったので、会話しませんでした。

2009 年頃、HCJB では、淀橋教会・峯野龍弘先生の自叙伝『愛ひと筋に』の朗読を行っていました。壮絶な人生を経験されたにもかかわらず、2009 年のリスナー集会で峯野先生に初めてお会いしたとき、そんなことを感じさせない、明るく優しくユーモアもある方で、教会にとっても興味を持ちました。教会の水が合い、2010 年の 4 月、イースター(復活祭)の日に洗礼を受け、淀橋教会の教会員となりました。学生時代はバンドでエレキベースを担当していて、すぐ讚美チームのメンバーとして用いられ、とても気分よく教会生活を送ることができています。HCJB リスナーとしては優等生ではありませんでしたが、リスナーの中から、洗礼を受けて淀橋教会の教会員になったことは、尾崎一夫先生にとっても喜んでいただいたように思います。

日本ふれあいの旅で来日された際は、淀橋教会の礼拝にも参加され、ご挨拶し、会話することができました。私が礼拝や夕方の集会で、讚美チームで演奏している姿を、やさしい目で見守ってくださったことを記憶しています。

尾崎一夫先生との距離がさらに縮まったのは、2020 年から、HCJB の返信業務を担当するようになってからです。毎週日曜日の夕方で受信報告を締めて、感想のまとめを尾崎一夫先生にお送りすると、感謝のことばとともに、尾崎先生の近況について教えていただいたり、わたしが職場や家庭の悩み事をメールに書き添えたりすると、慰め、励ましのおことばをいただきました。尾崎一夫先生は BCL にとってはカリスマ的存在ですが、そういう方のお仕事をお手伝いさせていただいている幸運を、時たま振り返っておりました。余談ですが、お便り係をやりながら、同世代のリスナーが、エクアドル時代も受信できていて番組内容を把握されていた方が結構いらっしゃるのを知り、驚きました。自分も少年時代に帰り、もう一回、エクアドルからの放送の受信にチャレンジしたいと思ったことがしばしばありました。

返信業務を担当したことにより、当放送のことをより知ることができました。尾崎先生は 90 歳を越えられるまで、アメリカ新発見のような新番組を意欲的に企画されていました。また、地上での最後に近いお仕事だったと思いますが、お孫さんのエミーさんのイタリア訪問の番組は通訳も兼ねられ、力作だと思いました。今年の 6 月に来日された際はお元気なようでしたので、未だに天に召されたことが実感できません。どういうめぐりあわせか、優秀でない HCJB リスナーであった私が当放送のお仕事をさせていただくことになりましたが、一から制作するわけではなく、尾崎先生がこれまで、放送の内容、型を作ってくださっていたので、あとはきちんとそれを整理し、仕事をやっていけば放送は継続できると思いました。放送継続の準備をしている間、少し仕事に行き詰まったときもありましたが、突然閃いて解決したことがしばしばあります。おそらく、尾崎一夫先生が見かねて、天国から助け舟を出してくださったのでしょう。(以上)

(お知らせ)

●淀橋教会のクリスマス礼拝

12 月 21 日日曜日午前 10 時 30 分からクリスマスメサイア礼拝、12 月 24 日(水)18 時 45 分からクリスマスイブ礼拝が行われます。Youtube で視聴することができます。

●尾崎先生のご家族による感謝会の開催

2026 年 1 月 10 日(土)に、尾崎先生のご家族が来日されて、感謝会を開催します。会場は淀橋教会、午後の集会となると思いますが、開催時刻は追ってご連絡いたします。

土曜日の放送		日曜日の放送	
12 月 6 日	尾崎一夫先生制作の番組	12 月 7 日	峯野龍先生の聖書メッセージ
12 月 13 日	尾崎一夫先生制作の番組	12 月 14 日	朗読『愛ひとすじに』峯野龍弘著
12 月 20 日	尾崎一夫先生制作の番組	12 月 21 日	尾崎ファミリーからのメッセージ(再放送)
12 月 27 日	尾崎一夫先生制作の番組	12 月 28 日	お便り交換の時間

放送時間：日本時間 午前 7 時半-8 時 17.650kHz (再放送) 午後 8 時-8 時 30 分 15.460kHz
(オーストラリア送信)